

Update the Value Standard

早川浩士
(有) ハヤカワプランニング
代表取締役

50年に一度の記録的大雨

はじめに、観測史上最多の降水量を記録した令和2年7月豪雨による被害に遭われた皆さま、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。皆さまの安全と被災地の一日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。

発生しているわけではない。また、今後50年は起きないという意味でもない。これまでの経験が通じない事態が全国各地で発生している。災害への対応や対策を抜本的に見直さねばならない。

一日前プロジェクト

経験したことの無い事態に直

近年わが国は、台風による雨量が記録的となった昨年の令和元年東日本台風(19号)による豪雨、一昨年の西日本豪雨、一昨昨年の九州北部豪雨など、これまで類を見ない災害が常態化している。今回も「50年に一度の記録的大雨」や「大雨特別警報(警戒レベル5)」を発表した気象庁は、「経

験したことの無いような大雨で、重大な危険が差し迫った異常事態にある」ことから、「発令された避難情報に直ちに従うなど、命を守る最善の行動をとってください」と最大限の警戒を呼びかけた。「大雨特別警報」は、2011年の台風12号により一部地域で2000mmを超える記録的な豪雨

に見舞われた紀伊半島大水害の災害教訓から、1991年以降の観測データを基に「50年に一度」の異常雨量を定め、その数値を超えると発表するという運用を2013年8月から始めた。数学的(統計学的)に、その地域で50年に一度起きるようなレベルの大雨と言う意味であり、50年毎に

「今まで大丈夫だった」

は、通用しない

Profile

はやかわ・ひろし ● 経営コンサルタント。「継栄と人財創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』、『99の言葉の杖』(いずれも日本医療企画)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)など。本誌にて『経営(継栄)のツボ』を創刊から200回(16年8カ月)連載

URL www.hayakawa-planning.com

面したとき、非常事態であるにもかかわらず、ありえないという認識や「私は大丈夫」という思い込みなどを指す、心理学用語で使われる「正常性バイアス」が働き、正常な判断や身を守るための避難行動が遅れてしまうことがある。「災害の一日前に戻れるとした

ら、あなたは何をしますか」と災害への啓発を促す内閣府の防災情報ページがある(※1)。地震や水害などの自然災害で被災した方や災害対応の経験をもつ方々から、①被災前の行動、②もう一度災害が発生したならば、次はどのように行動したいか、③日頃から何を準備しておけばよかつ

たか、④体験を通じて上手に思ったと思うこと、失敗したと思うこと等を聞き取り、そこから導き出される教訓を取りまとめた「一日前プロジェクト・エピソード集」(※2)を活用しながら、防災・減災への意識を研ぎ澄ましたい。「今まで大丈夫だった」は、通用しない。コロナ禍も然り。

※1 内閣府の防災情報ページ www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/index.html

※2 内閣府の防災情報「一日前プロジェクト」エピソード集(2020年3月) www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/pdf/1chinichi_Web2020.pdf